



(2) 名前のない新聞 No.220 / 2020年11・12月号

リニアは理に合わない!!

大鹿村から リニア建設にアートやコトで異議申し立て

★2027年開業と言っていたリニア新幹線だが、静岡県知事が水の問題でSTOPをかけているため、静岡県内での工事だけでなく完成が大幅に遅れることが予想される。しかもリニアは計画の当初から赤字が予想されていた上に、コロナで鉄道や飛行機が減便や終電の時間を早めるなど幅広く縮小しているため、経営的に成り立つものかますます怪しくなってきた。おそらくは膨大な国民の税金を費やす金食い虫になるのではないかと。しかし長野県内などでは工事を進めようとしており、大鹿村に住む人達の間では以前から疑問や反対の声が上がっていたが、最近では送電線の鉄塔建設をめぐるまた疑問が広がりがつつある。そこで、その鉄塔の一番近くに住んでいる青木連さんにお話を聞かせてもらった。彼は去年の秋に隣村の中川村での「ここから祭り」でもライブペインティングをやっていたので面識があった。(あ)

青木
連
さん

長野県大鹿村で牛を飼いながら絵を描いている



(プロフィール)

大鹿村生まれ大鹿村育ち。父親が40年以上前に大鹿村に移住して牛を飼いはじめ、5年前に他界したので後を継いだ。

飼っているのは黒毛和牛とF1牛(和牛×ホルスタイン)で、合わせて50~60頭いる。肉用牛を飼っているため乳搾りもなく、朝は早くなく、朝夕に餌やりをするほかは牛舎の掃除や、野良仕事をしている。

肉の一部は、小さな消費者グループと取引のある兵庫県の小さな肉屋と契約している。出来るだけ餌を非遺伝子組み換え、国産飼料としており、消費者グループの方々とは年に最低1回は顔を合わせて情報交換したり、生産地の見学に来てもらったりしている。

消費者や肉屋さんはお肉を大切にあってくれていて、大鹿村の工事のことも強く共感、同行している。今の環境で育った牛を求めてくれていて感じるといふ。

絵は子どもの頃から好きで独学で描いており、2016年から飯田市の友達とNOROSHIという名前のチームを組んでのライブペインティングもしている。コトをはじめるとか、コトを起こそうという意味の「狼煙」という名前だ。

チームでやる面白さは脳みそが2つある感じ。「僕には無い発想を彼がライブ中に出てくるとニヤニヤしてしまいます。難しさは

画風が全く違う2人の絵がどこを着地点とするか?というところ。。。」

現在はイベントでライブペイントをしたり、グループ展等への参加もしている。

《インタビュー》

—まずリニアのポスターについて：作った経緯は？

青木連 ● 我が家の裏山にリニアのための70~80mの送電鉄塔が建つことになり、建設予定地はどんなところなんだろう?と裏山を登ったところ、鉄塔の予定地にある伐採予定の樹齢300年を超えるブナの木と出会ったことから始まりました。こんな巨木の立つ森や山を守りたいと友達たちに伝えたら、みんなで登ることになりました。その中の1人の写真屋さんをしている友だちが撮影してポスターにしてくれました。

—静岡県では工事がストップしてるそうですが、大鹿村ではどんな状態? 今後の見通しも。

●静岡の工事がストップしているのだから、今は沿線全てもストップしてほしい。それは無理にしても水問題を含め他の問題も県で連携をとって考えて立ち止まってほしいと

ころですが、自治体が違えば考えも行動も違う様子。長野県の工事遅れているので、急いで工事したい模様。

村は中立の立場をとっているが、普通にJRに協力しているように見えて仕方がないです。住民の意見と工事に挟まれて大変そう。。本来は住民のことを第一に考えた方がいいと思う。

ただ、村では賛成している人や、意見を持たない人が大半で、反対する人が煙たい人も多々あります。結局少数派の意見なのかと思う時もあります。同じ村民同士なのに、今まで付き合ってきた地域の人達とギクシャクしてしまっていて悲しいです。

今年7月の豪雨で現場までの道が通れなくなったり、残土置場が確定していなかったり、またトンネル内で水が吹き出したり、減水や汚染物質がでたりという話も聞き、問題が山積みですんなり工事が進むとは全く思えません。

でも最近うちの近くの鉄塔工事は再開しました。

もともと大鹿村でのリニア工事は2016年11月から始まりました。しかしその前から住民説明会や環境影響調査など、色々な工事準備に翻弄されていました。着工後は大鹿村の上蔵地区、釜沢地区(ボブの住む地区)で掘削や関連工事が進みました。

自分は「リニアは理にあわない」というT

ライブペインティング中の連さん。今月号の表紙絵も彼の作品だ。





名前のない新聞 No.220 / 2020年11・12月号 (3)

シャツを友達と作り、事を広めながら資金調達をしました。

そして僕の住む青木谷(青木地区)でも説明会があり、今年工事が着工されました。それに伴い関連工事でもある道路拡張や、リニア電力のための高圧送電鉄塔の工事が始まりました。

活動としては正直、今年自分の住む青木地区で工事が始まるまで大したことをしていませんでした。それは釜沢地区の工事はその地区全体の問題で、何ともやりづらかったりして。。

ただ自分は火の粉が実際降りかからないと動かないなんて酷いものだと思っています。今は主に送電鉄塔工事に対して、裏山の木の伐採を止めるべく、みんなで署名を集めたり、ブナの木のパスターを配っています。署名やパスターがどんどんと広がる事を願います!

若い世代はNO!と強く争ったり相手を傷つけたりすることが嫌なように思います。実際ばくもそうです。親の世代はNO!と強く訴えて、座り込みをしたり、ハッキリとした表現をすることが大切にしているように思えます。どちらも大切なエネルギーです。

—去年行ったここから祭りの帰りに大鹿村の道の駅に寄って見たら、川をはさんだ対岸が大規模な残土置き場になってるようでした。他にも残土置き場は作られる予定ですか? それが崩れる恐れがあると聞きますか?

●道の駅の対岸の場所はもともと村のグラウンドだったのが、村が提案したみたいで、残土置き場になったんです。今はもう残土を置きおわって、そこに上物を作り始めてます。でも上物の建設費は村が出すらしいので、いいように使われてるような気もします。(※以前からあった管理棟などの施設はJR、新たに屋根付き運動場を造るのは村のお金=国からの地方創生の補助金もかなり)

それと別に、うちの奥の奥にも残土置き場を予定していて、伐採やら下準備を



してるんですけど、川の上流に残土を置くのは怖いよねって話をしています。その場所まではすごい細い道だし、その更に奥にも数軒ですが人が住ん

でたりするんです。

—大鹿村には日本一大きな断層帯の中央構造線が通っており、地質が不安定な場所。そこにリニアのために25KMにも及ぶ南アルプストンネルを通す計画だが、万一走行中に地震が起きて運行が止まったり、トンネルが崩れてしまった場合に乗客乗員の安全は大丈夫なのだろうか。また現在は静岡

県がSTOPをかけていて工事が止まっているが、それはトンネル工事による水の枯渇で大井川の水量が減ることが予想されるのが理由だが、それは静岡県だけの問題とはどう思えない。

●7月に豪雨が降って、大鹿村の生活圏内で確認しただけで大小あわせて100カ所以上は崩れてます。うちの牛舎は川沿いに建ってるんですが、そこの護岸も流されてて、牛舎の一部が宙ぶらりん状態になっていて怖いんです。次の台風なんか来る前に、川なので県か国がなおしてくれるとは思ってるんですけど。

—家の裏の工事がはじまると、飼ってる牛への影響も考えられるんですか? よく騒音で牛が乳を出さなくなったとか聞きますか?

●うちは乳牛じゃなくて肉牛なんでなんともどうなるか想像でしかないんです。どんな被害があるかって考えた時に、音が一番かなと思いますが、うちから一番近い鉄塔はモノレールで運ぶから音はたいしてしないかもしれないけど、その次のブナの木があるあたりの鉄塔から上では作業用ヘリで資材や生コンなどを運ぶので、そこでホバリングして停まって降るしたりするんです。隣村ではその工事がもう始まっているので、見に行っただけなんです。普通のヘリに比べれば重い物を運ぶので、ヘリ自体も大きいし音もでかいなと感じました。

音で牛がどうなるかというのは、たとえば肉の品質が落ちるとか。肉牛は餌を食べてたんぼで、たくさん食べてもらって体重を増やすというのが仕事の1つなんです。餌の食いが悪くなるのは考えられるのかなと。でもそれも実際に始まってみないとわからないし、餌の食いは季節によっても違うから証明ができるのかなと。

一番わかりやすいのは音にびっくりして柵から逃げちゃったとか、暴れて転んだとか、そういうのがあれば被害と言えるだろうけど。牛とか動物は人間よりも敏感だから、なるべく音を出さないようにしてくれと



か言いようがないんです。

騒音、振動、低周波、その3つを発破の時は測りに来たんです。(リニア本体の掘削工事の時)うちは近いことは近いんですが、現場と標高は変わらないのでそんなに音や振動はなかったんですけど、音は上にあがるものみたいで、ボブの息子が現場のすぐ上の集落に住んでいて、音がしたりモノがカタカタって揺れたりするみたいです。子どもや犬が驚いたりするそうです。

—いま拡散しているリニアのパスターや署名はブナの木を伐らないでというのが目的のようですね?

●みんなで山に登って行ってブナの巨木が伐られる予定だということを見つけたときに、シンボリックな存在だと思ってそれを味方につけようと思い、「日本の巨木」という、申請すると登録してくれるところがあって登録できたんです。(環境省関連の巨樹・巨木データベース)

それがきっかけで、またNOリニアに対するみんなの気持ちが再燃してるんじゃないかなと思います

ただ、今はそのブナの木だけは伐らないかもという話になってきてます。かもしれないというくらいですが。

—署名はもう出したんですか?

●毎月集めた署名を持って行こうと決めて、今までに2回出しました。飯田市にある中部電力に。(あて先は、中部電力パワーグリッド(株)リニア関連送電工事所長と、東海旅客鉄道(株)長野工事事務所大鹿分室長)

—昔から、リニアを動かすためには原発が必要だという話がありますね。

●はい、中部電力が電気を供給するとなると、浜岡原発を動かさないと想像してしまうんです。電気の検針に来る方がちらっと言っていたんだけど、中部電力はあんまり儲かってないと。だから浜岡原発を動かしてリニアに電力を供給したいんだらうというかんじ

↑鉄塔工事が始まる日の朝、みんなで集まってアピールをした。連さんは牛を連れて自分の暮らしをアピール。

↑ここから祭りが終わって会場を出る時の記念写真。真ん中が完成した作品を前にした連さん。



→ポスターと一緒に送られてきたチラシ。裏面もある。

長さ 25km の巨大山岳トンネル。 南アルプスの環境への影響が心配！

山梨、静岡、長野の3県にまたがり、南アルプスを貫くトンネル工事。そこに住む動物たちや植物にも影響が懸念されています。南アルプスは、北アルプスより300メートルほど森林限界が高く、2600m付近まで亜高山性森林帯(シラビソやツガなど)の森に覆われています。そしてその豊かな植生のおかげでイヌワシ、クマタカ、日本カモシカなど多様な野生動物、昆虫が生息しています。1964年に国立公園に指定され、2014年にはユネスコエコパークに登録されました。リニア工事による環境破壊は、豊かな生態系を壊しかねません。環境省も河川等の生態系に「不可逆的な影響を与える可能性が高い」と言っています。



ステッカーの売上は全額「ストップ・リニア! 訴訟」活動資金に使わせていただきます。
(ストップ・リニア! 訴訟 大鹿サポーターズ)

世界最速レベルで隆起している 崩れやすい地質に穴を開けて大丈夫!?



JR 東海は、「環境配慮書」の中で「(南アルプスの)隆起速度については、日本国内で突出した値でないなど、トンネル設置にあたっての制約にはならない」としていますが、南アルプス(赤石山脈)は、年間に平均4mmと世界最速レベルで隆起しています。またこの地域は崩れやすく水が出やすい地層で、深層崩壊が危惧されるエリアに指定されています。



トンネル工事による環境破壊

- 道路拡幅や整地のため、直接的に植生が破壊される
- 谷や川岸が埋め立てられる
- 土砂崩れ対策のために、斜面がモルタルで固められる
- 土砂の掘削工事などで河川に土砂が流入し、水質が悪化する
- 川岸の森(深畦林)が消失する

●村長は賛成とか反対とは言わないんです。言えないというか。どちらとも言わないけど、止めようとかは全くしない。議会の方では2人の女性議員さんが反対とおっしゃってくれています。もう一人の女性議員はどっちかという賛成なんだろうけど、いちおう慎重にとは考えてくれるのかな。他の人達はそんなこともない。どっちかという賛成。どちらでもないっていうのは意見がないということで、議員なのにどうしてなんだろうと思っちゃいます。賛成なら賛成とちゃんと理由が言える人は言えるんですよ。

では言うんです。もちろん JR や中電の説明会なんかで原発ありきの計画じゃないのかって聞いたことはあるんですけど、はっきり向こうが認めたわけではないです。

311のさなかにリニアが大鹿村を通っていうルートが決まって、その直後に大鹿でも説明会があったりして、それこそ寿満子さんがどうしてあんなことがあったのにリニアを進めるんだと、しかもいま電力がたりないんでしょと聞いたんですが、むこうは出来る頃には電力がたりてますと言っていましたね。ほんとにこればかりはがっくりきたんです。何と無責任なことを!と。

—それが2011年だともう10年近く前のことですね。

●工事が実際に大鹿で始まったのは2016年のことで、その前から環境アセスをやってみたり、2016年以後は工事の説明会をやったり、そういうことが進められてきました。

—住民にとってリニアが問題だになるのは、工事に伴う木の伐採、それに工事で村内をダンプがたくさん走り回ることで、そしてトンネルから出た残土置き場のことなどが出たと思うけど、その他にはどんな心配が?

●僕が一番怖いのは水が涸れたりすることです。

—静岡県でもその問題で工事がストップし

てるわけですね。

●静岡県は水源だけ侵されて、駅すらもできないで何もいいことないですから。水量が下流で減ってしまうかもしれない。静岡ではお茶畑でけっこう水がいるらしいんです。お茶の生産に水を使うので、そういう組合が声をあげてたりするみたいです。

うちも湧き水で牛の水はまかなってるので、水を買ってたら経営がなりたない。それに集落からはずれてる場所で水道が通ってないので自分の水もそうなんです。でも村の人にはそういう話は響かなかったかな。

うちの目の前を青木川が通ってるんですが、リニアはその下をくぐるんで、水がその穴からどっか行っちゃうんじゃないかと素人は考えるわけです。田んぼの水にしてもどうなるんだろうと。

水量が減ったり水質の変化については、JR自体も今はわからないと言ってます。

—水量が減るのは大問題で、静岡で問題なことが長野で大丈夫なはずはないよね。

●そうなんです、村の長だったり県の長が言わないと。原発もそうじゃないですか。県知事とか現場の町長が言うことに沿ってやってくるような感じだから。

—大鹿村の村長とか村議会はリニア賛成なんですか?

—たとえば村議会に対して陳情書とか請願書を出したりはしてない? 請願は紹介議員が必要だけど陳情なら無くても出せる。僕は八丈島に住んでた頃に何度か出したことがある。議員の構成によって成立するかどうかは最初から見えてるかもしれないけど、それぞれの議員の態度をはっきりさせられるし、圧力になると思う。

●今んとこやってないですね。(※別の人達が出した請願や陳情は過去にあったそうです)でも村議選の時にそういうアンケートをとった方がいました。立候補するにあたってリニアに対してどうなんだみたいな。あと議会の中でも賛否を問うみたいなことが以前にあったんです。その時は共産党の方もいらしたんで3対4だったかな。今は2対5なんですけど、今の議会になってからは賛否を問うことはしてないです。

—リニア工事で特需みたいに儲かる人は儲かるだろうけど、工事が終われば無くなっちゃうものだしね。一部の人の一時的な儲けのためにみんなにとって大事なものが無くなってしまったら元も子もないはずだけど。

●そこは価値観の問題もあると思います。向こうが何に価値をもってるかという。僕なんかは今ある山や川、空気や水、自然が大事だと思ってるけど、上の世代は「発展」と呼ばれることが大事だと思ってるんじゃないのかなって思います。



ここから祭りでの「リニアコント」。もう何年も前からこのコンピで演じている。

名前のない新聞 No.220 / 2020年11・12月号 (5)

ないリニア問題の住民組織があるわけですね？

● ストップリニア訴訟は今コロナで裁判自体が止まっているようですが、そういう勉強会にも行ってた人もいます。今回のポスターの件では作った写真屋の友だちがそういうネットワークに送るよという話です。

ポスターの方はまだ名前がなくて、発信していこうという話になったときに、ツイッターで大鹿村リニアⓂ️大作戦という同じアカウントで何人かが毎日投稿しています。でも団体名というわけではないし。

—ポスター作るのにも署名集めるのにもお金がかかったりするから、カンパを求めたりしてるよね。それは個人名でやってる？

● カンパの振り込み先をつくらなきゃねっていう話で口座を開いた時に、「リニアは理にあわない」というのが我々の合い言葉になってるので、そういう口座を作ったんです。その言葉は昔ボブが考えたんだけど、けっこうみんなの間でヒットしてるんです。

—寿満ちゃんがだいぶ前からリニアコントをやってるよね。お祭りで何度か見ました。

● はい。うちの母とやってるんです。黒子をやってるのが姉で、セーラー服着てるのが母で、みっちゃんと言います。(笑)

—えー、そうだったんだ！ お母さん、なかなかやりますねー。

● はい。こういうことを表現するとき、NO!とか反対!っていうのはけっこう疲れるし、そういうのにノリづらい世代もあるし、なのでコントだとか歌で表現したりとか、今までの原発なんかの活動とはちょっとまた違うものをね、ユーモアを持って楽しみながら。あるいはポスターみたいにきれいだねってところから入るとか。そういうふうになりたい人はしていこうねという。

—幅が広い方がいいものね。

● 人のやってることを否定しないようにしようというのも我々の中でルールみたいになってます。

人にもよりますが、若い世代はNO!と強く争ったり相手を傷つけたりすることが嫌なように思います。実際ばくもそうです。親の世代はNO!と強く訴えて、座り込みをした

り、ハッキリとした表現をすることを大切にしているように思えます。思いはみんな一緒なんだからと思っていて、どちらも大切なエネルギーです。

—アートの力ってのもあるんじゃないかと思うけど、それこそ絵で表現とかはしてる？

● したいですね。2、3年前くらいからは自分が絵を描いて、リニアは理にあわないというTシャツを売ったりしてるんです。あと大鹿界隈の友だちでいるんなジャンルの人達がリニアのことを中心に「夢のリニア超特急」というCDを作ったときにジャケットの絵を描いたり。それに「たあくらたあ」という雑誌に挿絵を描いたりして、そういう間接的な表現はしてます。

INFORMATION

● ポスター、署名の申込み・問合せ先：
→len.baubokujo@gmail.com

● 署名「青木地区送電線工事のためのブナの木伐採の延期・中止を求めます」
《宛先》中部電力パワーグリッド(株)リニア関連送変電工務所長、東海旅客鉄道(株)長野浩治事務所 大鹿分室長
オンライン署名 = <https://v.gd/0h9ftt>

● ポスター等のカンパ振り込み先：
みなみ信州農業協同組合 豊丘支所
普通 0040581
「リニアは理にあわない 代表 青木連」

● p10の水野みさをさんの原稿で紹介されるように、youtubeでも大鹿村でのリニア関係動画を発信。

● 表紙絵の言葉 (青木 連)
タイトル:「夢のリニア超特急」

リニアは夢のままであってほしいという想いから、友人たちがCDを作成した時にジャケット用に描いたものです。

全ては循環し、繋がっていて、山空水里が一つの大きな生命体と感じています。



★リニアポスター貼れる場所を募集中!

